

【3月の気象】

この時期は、日本付近を高気圧と低気圧が交互に通過して天気は周期的に変化することが多くなります。高気圧に覆われて晴れる日や低気圧の通過で雨をもたらす日や冬型の気圧配置となり真冬並の寒さとなる日もあります。

また、この時期は晩霜による農作物への被害が懸念される時期でもあります。例年この時期に入る前には、気象台と農業関係機関の間では農作物の育成情報を考慮して、霜注意報の発表時期を決めています。農業に影響する気象や天候などは、表1の通りとなります。

表1 農業に影響するこの時期の気象と天候

現象の種類	状況や要因	注意すべき事項	着目してほしい情報
晩霜	高気圧に覆われた朝の放射冷却	農作物の管理	霜注意報
乾燥	高気圧に覆われて空気が乾燥	火の取り扱い	乾燥注意報
強風	低気圧の発達などにより 気圧の傾きが増大	農業施設の管理 火の取り扱い	気象情報 強風注意報、暴風警報
落雷 竜巻・突風 降ひょう	寒冷前線近傍、上空寒気により大気の状態が不安定	農作物の管理 安全な場所へ避難	気象情報、雷注意報 レーダー・ナウキャスト 竜巻注意情報

【気象用語】「天候情報」とは

長雨や少雨、日照不足、高温、低温など、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間以上続き、社会的に大きな影響が予想されるときなどに、注意を呼びかけたり、解説したりするために発表する気象情報です。対象とする現象と影響を受ける主な対象は、表2のとおりです。

天候情報は、これらの現象の組み合わせで発表する場合も多くあります。例えば「長雨」と「日照不足」の組み合わせで、「長雨と日照不足に関する愛媛県気象情報」として発表する場合もあります。

表2 天候情報が対象とする現象と影響

現象の種類	主な社会的影響
長期間の高温	農作物、水産物、家畜、 人の健康
長期間の低温	農作物、交通（冬季）、 人の健康（冬季）
少雨	農作物、利水
長雨（多雨）	農作物
日照不足	農作物
長期間の大雪	農作物、交通

**天候情報の例**

少雨に関する愛媛県気象情報 第1号  
令和4年6月28日14時30分 松山地方気象台発表

(見出し)  
愛媛県では、5月上旬頃から、降水量の少ない状態が続いています。この状態は、今後10日間程度は続く見込みです。農作物や水の管理等に十分に注意してください。

(本文)  
愛媛県では、5月上旬頃から、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けにくかったため、降水量の少ない状態が続いています。5月1日から6月27日の降水量は、平年の半分以下となっている所があります。本日6月28日ごろ梅雨明けしたと見られ、今後10日間程度は、これまで

長浜	191.0	58
中山	171.5	45
久万	220.5	53
大洲	197.5	50
獅子越峠	273.0	57
瀬戸	238.0	60
八幡浜	196.0	51
宇和	195.5	43
近永	242.5	53
御荘	286.0	60

(記号の説明)  
// : 期間の不足等の理由により、統計値がありません。

今後の気象情報等に留意してください。

天候情報が発表されている場合は気象庁ホームページで確認できます。

[https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/342\\_index.html](https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/342_index.html)